

通常の学級に在籍する障害のある児童生徒に関する

個別の指導計画

— 様式例・記入例 —

平成 17 年 3 月

特別支援教育推進体制モデル事業

小・中学校における校内支援体制整備と
連携に関する研究委員会

目 次

「個別の指導計画」の作成にあたって

1 「個別の指導計画」とは	1
2 記入上の留意事項	1

通常の学級における個別の指導計画

肢体不自由児	(様式例)	2
	(記入例)	4
病弱児	(様式例)	6
	(記入例)	8
難聴児	(様式例)	10
	(記入例)	12
弱視児	(様式例)	14
	(記入例)	16
	(記録用紙)	18
軽度知的障害児	(様式例)	20
	(記入例)	22
通級による指導〔ことばの教室〕	(様式例)	24
	(記入例)	26
通級による指導〔情緒障害特殊学級〕	(様式例)	28
	(記入例)	30
軽度発達障害児…LD児…	(様式例)	32
	(小学校記入例)	34
	(中学校記入例)	36

「個別の指導計画－様式例・記入例－」は、
山梨県教育委員会高校教育課ホームページ
(<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/koukoukyo/index.html>)
山梨県総合教育センター特別支援教育部ホームページ
(<http://www.kai.ed.jp/center/tokusyu/top.htm>)
に掲載しています。

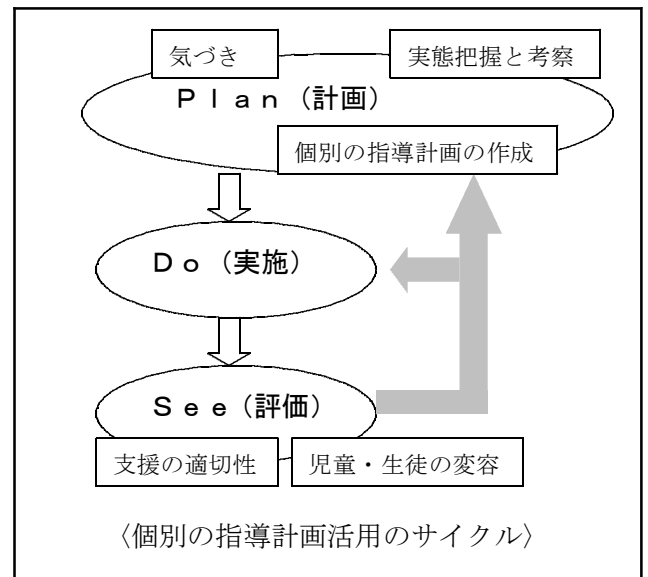
「個別の指導計画」の作成にあたって

1 「個別の指導計画」とは

個々の児童生徒の実態や環境に応じて、学期または、年間の具体的な指導の目標、内容等を盛り込んだ指導計画です。通常の学級では、各学校の教育課程に沿って学年ごとに教科・領域の指導計画が立てられますが、特別な教育的支援を必要としている児童生徒に対しては教科・領域だけでなく、日常生活全般も含め、個々の児童生徒に応じた「個別の指導計画」が必要となります。「個別の指導計画」は、右の図に示すように、Plan（計画）-Do（実施）-See（評価）サイクルに従って活用します。

「個別の指導計画」は、平成11年3月告示の盲学校、聾学校及び養護学校指導要領において、重複障害者の指導、自立活動の指導に当たり作成されることになっていますが、小・中学校の特殊学級等での指導や通常の学級での特別な教育的支援を必要としている児童生徒に対する指導の際にも、必要に応じて作成することが望まれます。

この冊子で示した「個別の指導計画」の様式例・記入例は、特別支援教育推進体制モデル事業で検討したものです。これを参考として、児童生徒の実態に合わせて工夫して作成してください。



2 記入上の留意事項

- 【プロフィール表】は、学校で把握した時点から約3年間を目安として、情報収集を行い、児童生徒の実態把握や理解に役立てるようにします。
- 項目や記入欄のスペースに過不足がある場合は、適宜修正して記入してください。
- 【指導計画】は、学期単位を目安として作成し、適切な時期に評価を行います。
- 「保護者・本人の願い」「保護者の希望」「保護者の評価」の欄を設けたので、作成に当たっては保護者の参画を促すようにします。
- 作成した「個別の指導計画」は、個人情報を含んだ文書であり、その活用と管理には、教職員の共通理解を図るなど、十分な配慮が必要となります。
- 地域の盲・ろう・養護学校では、センター的機能の一つとして地域の小・中学校に対する支援を行っています。作成に際しては、指導・支援の方向性の確認や教材のヒントなどの情報提供を受けるなど、地域の盲・ろう・養護学校と連携をしながら作成することも一つの方法です。

通常の学級における個別の指導計画 (肢体不自由児)

【プロフィール表】

立

学校

初回記入日	平成 年 月 日	記入者	
(ふりがな) 児童生徒名	(男・女)	生年月日	平成 年 月 日
保護者氏名		連絡先	自宅Tel
入学・転入	平成 年 月 日		携帯Tel
学年・組	平成 年度 年 組	担任名	
	平成 年度 年 組	担任名	
	平成 年度 年 組	担任名	
家族構成			
診断名(主治医)	(病院 医師) 連絡先Tel		
身体の状況 (マヒ・筋緊張 ・拘縮・脱臼 等)			
生育歴 (治療歴を含む)			
医療情報 (主治医, リハ, 服薬, 注意事 項等)			
手帳等		諸検査の記録(検査名 実施日 結果等)	
身障者手帳	無・有()		
療育手帳	無・有()		
学 校 生 活 の 様 子	学 習 面		
	言語・運動 面		
	心理・社会 面		
	生活面		
保護者・本人の 願い			

【指導計画】 (肢体不自由児用)

平成 年度 学期

記入日	平成 年 月 日	記入者	
指導目標	(年間) (学期)		
支援の基本的方針 (手だて)			
指導の評価			
保護者の希望			
保護者の評価			

	指導目標	指導内容と手だて	活動の様子・評価
学習面			
言語・運動面			
心理・社会面			
生活面			

通常の学級における個別の指導計画 (肢体不自由児) 記入例

【プロフィール表】

〇 〇 立 〇 〇 小学校

初回記入日	平成 〇 年 〇 月 〇 日	記入者	〇 〇 〇 〇
(ふりがな) 児童生徒名	やまなしはなこ 山梨花子 (男・ <input checked="" type="radio"/>)	生年月日	平成 〇 年 〇 月 〇 日
保護者氏名	〇 〇 〇 〇	連絡先	自宅Tel
入学・転入	平成 〇 年 4 月 1 日		携帯Tel
学年・組	平成 〇 年度 4 年 1 組	担任名	〇 〇 〇 〇
	平成 〇 年度 5 年 1 組	担任名	〇 〇 〇 〇
	※書き換え等の関係で2～3年の使用も可	担任名	〇 〇 〇 〇
家族構成	※同居の家族を記入。該当児の育児・教育等に深く関わっている親族等がいれば記入。 <記入例> 祖父母, 父母, 本児		
診断名(主治医)	※診断に関わる状況を記入。診断名がない場合は、特徴的なことを記入。 <記入例> 脳性麻痺(痙直型両麻痺) (〇〇大学附属病院 △△医師) 連絡先Tel		
身体の状況 (マヒ・筋緊張・拘縮・脱臼等)	<記入例> 両上下肢に麻痺がある。下肢の麻痺が強く、上肢は左側の麻痺が強い。下肢は大腿内転筋群の緊張が強く脚が交叉している、立位および歩行は不可。膝に拘縮が見られ、伸びにくくなってきている。左手の指に伸展性の緊張がある。腰、肩まわりに慢性緊張がある。		
生育歴 (治療歴を含む)	※保護者からの聞き取りで特記すべきことがあれば記入。 <記入例> 在胎35週、正常分娩、出生時体重3,130gで生まれる。生後10ヶ月でてんかん発作有り。抗痙攣剤処方。4歳くらいまでは呼吸器感染が多く、肺炎等で入退院を繰り返す。5歳時より〇〇大学附属病院で週1回のリハビリを受けている。		
医療情報 (主治医, リハ, 服薬, 注意事項等)	※保護者からの聞き取りを記入。関係機関の情報等があれば補足する。 <記入例> 主治医: 〇〇大学附属病院・△△医師 リハビリ 〇〇大学附属病院・□□二(OT)服薬: フェノバルビタール 40mg(分2 朝夕)服用 注意事項: 下肢の運動をするときには、膝に無理な力を加えたり、急に伸ばすことはしない。姿勢が崩れやすいため車いすに乗せるときはベルトやパッドを正しい位置に付け、姿勢が崩れたときは適宜直す。		
手帳等		諸検査の記録(検査名 実施日 結果等)	
身障者手帳	無・ <input checked="" type="radio"/> (1 種 2 級)	田中ビネー 〇年〇月〇日 IQ〇(動作課題が難しいため実際より低い結果になったと思われる。)	
療育手帳	無・有 ()		
学 校 生 活 の 様 子	学 習 面	<記入例> 下学年の基礎的内容が習得できていない。そのため、学習意欲はあるが学年相当の学習内容の理解が難しい。図工が好きで絵が得意である。	
	言語・運動面	<記入例> 車いすを自分でこぐことはできるが、ゆっくりである。上肢の麻痺、特に左手の麻痺が強いため、細かい作業は苦手である。野球の話題が好きで選手の名前等詳しい。	
	心理・社会面	<記入例> 大人に対する甘えや依存心が強い。集団活動はできるが、自由場面では友達らに対して自分から関わりをもつことは少ない。	
	生活面	<記入例> 衣服の着脱には介助が必要。排泄は自立しているが、便器に移るときなど介助が必要。食事時間が長い。野球選手になることが夢である。	
保護者・本人の願い	<記入例> 勉強ができるようになりたい。身体の動きの改善に対する取組もしてほしい。		

【指導計画】 (肢体不自由児用)

平成〇〇年度 〇 学期

記入日	平成 〇 年 〇 月 〇 日	記入者	〇 〇 〇 〇
指導目標	※この期間における目標を設定。実態から導き出された具体的なものがよい。 <記入例> (年間) 自分でできることを増やし、自信をもって主体的に行動できるようにする。 (学期) 計算ドリルを毎日行うことで、算数の基礎の定着を図る。 教室間の移動は、自分で車いすをこいで移動する。		
支援の基本的方針 (手だて)	※目標を達成するための具体的手だてを記入。 <記入例> 〇下学年の計算ドリルを使い、具体物を用いた教材を併用することで数や計算に対するイメージがもてるようにする。 〇1日のどの場面を自分で移動するかを本人と話しをしながら決めて、そこについては例外なく自分で移動させる。		
指導の評価	※指導期間末に評価。 <記入例> 学習面や生活面でできることが増えてきたことで「頑張る」という気持ちが育ってきた。		
保護者の希望	<記入例> 勉強も大切だと思うが、まずは、みんなの中で本人が主体的に参加できるような気持ちや力をつけていってほしい。		
保護者の評価	<記入例> 本人の気持ちに「やる気」が出てきたように思う。このまま、自分でできることはなるべく自分でさせたり、できることを少しずつでも増やしてほしい。		

	指導目標	指導内容と手だて	活動の様子・評価
学習面	<記入例> 〇下学年の基本的学習内容の定着を図る。 ・計算練習 ・漢字の書き取り	〇下学年の計算ドリル、漢字ドリルを毎日決められたページを宿題としてやらせる。 〇連絡帳に記入することを板書し、書き写させる。	〇ドリルは、ほぼ毎日やってきた。2桁の割り算までだいたいできるようになった。 〇時間内にすべて書き写すことは難しいが、漢字交じりで書くようになった。
言語・運動面	〇決められた場面で車いすを自分でこいで移動する。 〇左手を補助的に使えるようにする。	〇本人と話し合い、自分で決めた場面で車いすを自分でこいで移動する。 〇左手を使うことを意識するように適宜声をかける。両手を使う必要のある課題を設定する。	〇はじめは、押してくれるのを待つように動かないことがあったが、だんだんと自分でこぐようになった。 〇左手を使わないことが多い。
心理・社会面	〇一人でできないことは、自分から援助を求める依頼をする。 〇休み時間に友だちと遊べるようになる。	〇一人でできることとできないことを本人と確認をし、教師が先回りしてやらないで自分で依頼をさせる。 〇トランプカードの携帯を許可し、友達に関われるようにする。	〇まだ声は小さいものの、「〇〇をやってください」と自分から言える場面が増えた。 〇休み時間に自分から「トランプをしよう」と友だちを誘う様子が見られた。
生活面	〇給食を時間内に残さずに食べられるようにする。	〇はじめに自分が食べられる量に減らす。 〇固いものは、はさみで小さく切って食べやすくする。	〇量を減らしたことで、食事時間は短縮したが、周囲に注意を取られ動きが止まっていることもある。保護者と話をし、摂取量は適当であることを確認した。

通常の学級における個別の指導計画 (病弱児)

【プロフィール表】

立

学校

初回記入日	平成 年 月 日	記入者			
(ふりがな) 児童生徒名	(男・女)	生年月日	平成 年 月 日		
保護者氏名		連絡先	自宅Tel		
入学・転入	平成 年 月 日		携帯Tel		
学年・組	平成 年度 年 組	担任名			
	平成 年度 年 組	担任名			
	平成 年度 年 組	担任名			
家族構成					
診断名					
医 療 歴	医療機関名	期間	主治医	症状の経過 (参考となること)	
医療情報 (服薬・運動制限・食事制限・アレルギーなど)			生育歴・家庭環境等		
手帳等			諸検査の記録		
身障者手帳	無・有 ()		年月日	検査名	結果等
療育手帳	無・有 ()				
学 校 生 活 の 様 子	健康面				
	学習面				
	行動の特性				
	情緒面				
	対人関係・ コミュニケーション				
生育歴等 特記事項					
保護者・本人の 願い					

【個別の指導計画】 (病弱児用)

平成 年度 学期

記入日	平成 年 月 日	記入者	
指導目標	(年間) (学期)		
支援の基本的方針 (手だて)			
指導の評価			
保護者の希望			
保護者の評価			

	指導目標	指導内容と手だて	活動の様子・評価
健康面			
心理面			
学習面			

通常の学級における個別の指導計画 (病弱児) 記入例

【プロフィール表】

〇 〇 立 〇 〇 小学校

初回記入日	平成 〇 年 〇 月 〇 日	記入者	〇 〇 〇 〇	
(ふりがな) 児童生徒名	こうふいちろう 甲府 一郎 (男・女)	生年月日	平成 〇 年 〇 月 〇 日	
保護者氏名	〇 〇 〇 〇	連絡先	自宅Tel	
入学・転入	平成 〇 年 4 月 1 日		携帯Tel	
学年・組	平成 〇 年度 4 年 3 組	担任名	〇 〇 〇 〇	
	平成 〇 年度 5 年 3 組	担任名	〇 〇 〇 〇	
	※書き換え等の関係で2～3年の使用も可	担任名	〇 〇 〇 〇	
家族構成	※同居の家族を記入。 <記入例> 祖父母, 父母, 本児			
診断名	※医師による診断名等を記入。			
医療歴	医療機関名	期間	主治医	症状の経過(参考となること)
	※今回の発病にかかわる医療機関名を記入。		.	※発病の経過や緩解までの経過を記入 <記入例>H〇年〇月, 風邪の為A市立病院を受診。尿検でタンパク, 出血が認められ, 検査の為, 入院。慢性腎炎と診断される。同△月下旬に退院。
医療情報(服薬・運動制限・食事制限・アレルギーなど)			生育歴・家庭環境等	
※病気に関する配慮事項や運動・活動の制限や, 授業時数の制限等があれば記入。さらに身体虚弱の状況などで特記があれば記入。 <記入例>服薬有り。体育見学。登下校は保護者の送迎。1学期中は半日で下校。頭痛が続いている。			※保護者から聞き取った生育歴や家庭環境で特記すべきことがあれば記入。	
手帳等			諸検査の記録 ※実施した場合に記入	
身障者手帳	無・有()	療育手帳	年月日	検査名
療育手帳	無・有()		結果等	
学校生活の様子	健康面	※病気にかかわる身体状態の変化を記入。 <記入例>薬の副作用の為, 5kg体重増。ムーンフェイスが目立つ。		
	学習面	※未学習分野, 定着度の低い分野・領域, 意欲・態度等を記入。 <記入例>入院期間中の未学習部分について「自分だけやっていない」という意識が強い。さらに退院後も1学期中は半日登校であったため, ますます周りとの差がひらいてきている。		
	行動の特性	※特記すべきことがあれば記入。 <記入例>欠席が目立ち, 登校してきても保健室で過ごすことも見られる。		
	情緒面	※心の状態に特記すべきことがあれば記入。 <記入例>発病以来, 性格が変わってしまったかのように沈みがち。		
対人関係・コミュニケーション	※社会性等に関して特記すべきことがあれば記入。 <記入例>もとは活発な子であったが, 最近は自分から友だちに話しかけることは減多にない。			
特記事項	※その他に特記すべきことがあれば記入。 <記入例>発病に対する母親の揺れが大きく, 本児への対応にかかわって, 学校に何回か相談にきている。			
保護者・本人の願い	<記入例> 保護者: 発病以前のような明るさを取り戻してほしい。 本人: もう入院したくない。未学習の部分を取り戻したい。			

【個別の指導計画】 (病弱児用)

平成〇〇年度 〇 学期

記入日	平成〇〇年〇月〇日	記入者	〇 〇 〇 〇
指導目標	※特別な教育的な配慮が必要になった段階で、年間目標を立てて記入。 <記入例> (年間) 健康状態の変化に対する気持ちの揺れを表出し、発散させて、心理的な安定を図る。 (学期) 諸活動への取り組みを通して、達成感を味わわせ、情緒の安定を図る。		
支援の基本的方針(手だて)	※目標達成のための具体的な支援について記入。 <記入例>本児の病気について、周りが<児童を含めて>正しく理解して、本児と接するようになる。		
指導の評価	※指導目標に対する評価を記入。 <記入例>運動会への取り組みでは、いきいきと活動している様子がうかがわれ、友だちに話しかけるようになった。		
保護者の希望	※保護者との懇談等で得た希望を記入。 <記入例>未学習部分も気になるが、発病以来ふさぎ込みがちで、欠席も多いので、はやく元気になって欲しい。		
保護者の評価	※保護者との懇談等で得た評価を記入。 <記入例>笑顔が見られるようになり、友だちと話をしながら帰宅している。		

	指導目標	指導内容と手だて	活動の様子・評価
健康面	<記入例> ・健康状態の維持・改善に必要な生活を実行する。	○病状改善に必要な運動量の把握 ・可能な運動内容と量を表にする。 ○運動後の体調の自己評価と自己管理 ・運動の継続の習慣化 ・運動後の休息と体調の意識化	・徒歩を中心とした運動が可になり、登下校から再開した。自分でも疲れないように気を付けていた。 ・一日に歩いた距離を万歩計で算出し、グラフ化しその日の睡眠状態や疲労度など記入していた。
心理面	・自分の病気を理解し、受容する。 ・情緒の安定・意欲の向上に努める。	○自分の身体を受容 ・必要に応じた傾聴・カウンセリング的相談の実施 ○各種の諸活動による不安、緊張の軽減 ・造形活動(ちぎり絵、手芸等) ・運動会の放送係の取り組み	・保健室のベッドで涙を浮かべていることもあった。可能な限り、そばに寄り添い本児の話しに耳を傾けた。自分の病気をなんとか受け止めようとしていた。 ・放送係の取り組みでは、使用する曲のアンケート作成、集計、選定などいきいきと取り組んだ。アナウンス原稿も作成し、当日は放送係を一手に引き受け、成し遂げることができた。
学習面	・未学習部分(国語・算数)について、基礎・基本の習得に努める。	○一日一枚(3問程度)のプリント学習の継続(朝の活動時)	・「ゆっくり、焦らず」という投げかけを噛みしめるように頷いて、一步一步進めることができた。

通常の学級における個別の指導計画 (難聴児)

【プロフィール表】

立

学校

初回記入日	平成 年 月 日	記入者			
(ふりがな)					
児童生徒名	(男・女)	生年月日	平成 年 月 日		
保護者氏名		連絡先	自宅Tel		
入学・転入	平成 年 月 日		携帯Tel		
学年・組	平成 年度 年 組	担任名			
	平成 年度 年 組	担任名			
	平成 年度 年 組	担任名			
家族構成		身障手帳等			
身障者手帳等					
検査年月日	平均聴力レベル (HL)		装用閾値 (1000Hz)		検査機関
年 月 日	右 dB	左 dB	右 dB	左 dB	
年 月 日	右 dB	左 dB	右 dB	左 dB	
年 月 日	右 dB	左 dB	右 dB	左 dB	
補聴器の機種					
生育歴 (発見・訓練・ 教育歴など)					
学校生活の様子 (学習面・行動面 ・心理面での特記 事項)					
言語力・聴覚活用・発音発語・障害認識等の状況					
コミュニケーションの方法	【受容】聴覚・読話・手話・指文字・キュー 【表出】音声(口話)・手話・指文字・筆談・キュー・身振り				
聴覚活用について	活用している・場面によっては活用している・活用していない・活用が難しい				
発音明瞭について	明瞭・やや明瞭・やや不明瞭・不明瞭				
補聴器の管理					
障害認識について					
・諸検査等につい (知能検査・言語 検査・語音聴力検 など)	【読書力診断検査】				
	【発音明瞭度検査】				
	【語音検査】				
	【 】				
保護者・本人の 願い					

【個別の指導計画】 (難聴児用)

平成 年度 学期

記入日	平成 年 月 日	記入者	
指導目標			
支援の基本的方針 (手だて)			
指導の評価			
保護者の希望			
保護者の評価			

	指導目標	指導内容と手だて	活動の様子・評価
きこえとことば			
教科の指導			
社会・心理面			

通常の学級における個別の指導計画 (難聴児) 記入例

【プロフィール表】

〇 〇 立 〇 〇 小学校

初回記入日	平成 〇 年 〇 月 〇 日	記入者	〇 〇 〇 〇	
(ふりがな) 児童生徒名	やまなしたろう 山梨太郎 (男・女)	生年月日	平成 〇 年 〇 月 〇 日	
保護者氏名	〇 〇 〇 〇	連絡先	自宅Tel	
入学・転入	平成 〇 年 4 月 1 日		携帯Tel	
学 年 ・ 組	平成 〇 年度 4 年 3 組	担任名	〇 〇 〇 〇	
	平成 〇 年度 2 年 3 組	担任名	〇 〇 〇 〇	
	※書き換え等の関係で2～3年の使用も可	担任名	〇 〇 〇 〇	
家 族 構 成	※同居の家族を記入	身障手帳等	1 種 3 級	
検査年月日	平均聴力レベル (HL)	装用閾値 (1000Hz)		検査機関
H〇年〇月〇日	右 9 0 dB 左 8 5 dB	右 4 0 dB	左 4 0 dB	〇〇大学病院
H〇年〇月〇日	右 9 2 dB 左 8 6 dB	右 4 0 dB	左 3 7 dB	県立ろう学校
H△年△月△日	右 9 0 dB 左 8 2 dB	右 3 5 dB	左 3 5 dB	県立ろう学校
補聴器の機種	RION PE800R (耳かけ形FM補聴器) ※PE300TS (ワイヤレスマイク)			
生育歴 (発見・訓練・ 教育歴など)	<p>※保護者からの聞き取りで特記すべきことがあれば記入。</p> <p><記入例>後方から名前を呼んでも振り向かない。音へ反応しない時もあり、1歳児検診でことばの遅れを指摘された。〇〇大学病院で難聴と診断。県立ろう学校での乳幼児教育相談を受けながら保育園へ通園。小学校入学後は、△△小学校のことばの教室へ通級。5年時から定期的にろう学校で聴力測定等の支援を受けている。</p>			
学校生活の様子 (学習面・行動面・ 心理面での特記 事項)	<p>※指導上特に必要な項目について記入。</p> <p><記入例>教科は、学年相当の学力があり、学習にも意欲的に取り組み、宿題や読書にも積極的である。班活動などでは、積極的に友だちと関わって、発言もできる。しかし、友だちにまちがいを指摘されたりすると、涙ぐんでしまうこともあり、行き違いから言い争いになることも時々みられる。</p>			
言語力・聴覚活用・発音発語・障害認識等の状況				
コミュニケーション の方法	<p><記入例></p> <p>【受容】<u>聴覚</u>・<u>読話</u>・手話・指文字・キュー</p> <p>【表出】<u>音声(口話)</u>・手話・指文字・筆談・キュー・身振り</p>			
聴覚活用について	<u>活用している</u> ・場面によっては活用している・活用していない・活用が難しい			
発音明瞭について	明瞭・ <u>やや明瞭</u> ・やや不明瞭・不明瞭 ※「さ」行、「ら」行、「だ」行等—不明瞭			
補聴器の管理	電池交換、乾燥容器に入れるなど簡単な管理はできている。			
障害認識について	聴こえにくいことを理解し、どうすれば聴きやすいかを考えている。			
・ 諸検査等につい (知能検査・言語 検査・語音聴力検 など)	【 <u>読書力診断検査</u> 】			
	小学校6年1学期 (H〇年〇月)			
	【 <u>発音明瞭度検査</u> 】			
	無声、有声間の摩擦音、破裂音の発音、区別が難しい点がみられた。			
	【 <u>語音弁別検査</u> 】 70dB-50% : 57-1表 (H〇年〇月)			
	【 <u>田中B式知能検査</u> 】 I Q 〇〇 偏差値 △△ (H〇年〇月)			
保護者・本人の 願い	<p><記入例>高等学校進学さらには、大学進学も視野に入れて進路を検討している。国語を中心に学習面に力を入れて伸ばしてほしい。聴こえ難さもあり、発音の不明瞭な部分もあるが、本人も友だちと同じクラスでの活動を楽しみにしているので、中学校も通常学級での指導を希望したい。</p>			

【個別の指導計画】 (難聴児用)

平成〇〇年度 〇 学期

記入日	平成〇〇年〇月〇日	記入者	〇 〇 〇 〇
指導目標	※この期間における目標を設定。実態から導き出された具体的なものがよい。 <記入例> ・高学年にふさわしい言語の習得と適切な活用を図る。 ・ことばを正確に覚え、語彙の拡充を図る。 ・傾聴態度の向上をさらに図る。 ・発音を意識し、丁寧に話そうとする態度を養う。		
支援の基本的方針(手だて)	※目標を達成するための具体的手だてを記入。 <記入例> ・作文や毎日の日記指導を中心にして正しい文法や学年相応の表現方法を身に付け、語彙の拡充を図る。 ・発表した内容を連絡帳へ記入するなどして正確に聞き取る態度を養う。 ・音読などでチェックした語句を休み時間、放課後に確認し自分の発音を理解させる。		
指導の評価	※指導期間末に評価。 ・学習したことばや表現方法をわずかではあるが生活の中で使用したり、作文で表現する工夫がみられた。		
保護者の希望	<記入例> ・語彙を豊富にしてほしい。 ・いつでもきちんと聴こうとする態度を身に付けさせてほしい。		
保護者の評価	<記入例> ・まちがえて覚えていた語句や知らなかった語句のことを話してくれ、使えるようになった新しい語句も増えた。		

	指導目標	指導内容と手だて	活動の様子・評価
きこえとことば	<記入例> ・補聴器を活用して他者の話をしっかり聞ける。 ・まちがえて認識している語句を正確に覚える。 ・不明瞭な発音を意識する。 特に「さ」行	・朝の会で、補聴器のきこえについてチェックする。異常が確認できたらその対策を一緒に考える。 ・作文や日記の表記で、まちがえて覚えている語句や学年相応ではない表現は、ことばのノートに記入し家庭と連携して定着を図る。 ・ろう学校の支援	・3学期になり、聴こえにくい時には、その様子を伝えてくるようになった。 ・ノートに書いたことばの家庭学習が定着してきた。 ・「さ」行の発音方法を理解してきた。
教科の指導	・教科学習に出てくる新出語句を理解して覚える。 ・文章題や理由を答える問題の意味を的確に読みとる。	・ことばのノートへの記入や短文作りで定着を図る。 ・答え方の例を示したり、答えを導くまでの過程を文章化させる。 ※全児童にも同様に指導する	・中学での学習を意識してか、中学の勉強のためとって自由勉強で積極的に取り組んでいる。 ・単語で答えることはなくなってきた。
社会心理面	・集団活動で、友だちの話を理解する方法を考える。 ・自分のことを知ってもらう手だてを考える。	・朝のスピーチの発表をワークシートに要約する。※全生徒 ・朝のスピーチの発表で友だち関係のトラブルの原因を発表する。	・まず、自分が聴こうとする姿勢をもつことが大切と気付いた。 ・自分の聴こえ難い時やどうすれば聴こえやすくなるか発表できた。

関係機関との連携

HO.〇.〇	県立ろう学校 (訪問)	聴力測定・インピーダンスオージオメトリー	・語音弁別検査 ※結果は裏面添付
□.□	〃 (来校)	発音指導・発音明瞭度検査	
△.△	〃 (来校)	授業参観およびケース会議	

通常の学級における個別の指導計画 (弱視児)

【プロフィール表】

立 学校

初回記入日	平成 年 月 日	記入者	
(ふりがな) 児童生徒名	(男・女)	生年月日	平成 年 月 日
保護者氏名		連絡先	自宅Tel
入学・転入	平成 年 月 日		携帯Tel
学年・組	平成 年度 年 組	担任名	
	平成 年度 年 組	担任名	
	平成 年度 年 組	担任名	
家族構成			
診断名(主治医)	(病院 医師) 連絡先Tel		
視覚障害の状況	眼疾 視力(矯正) 視野 視機能 使用補助具 その他		
生育歴 (教育相談歴等を含む)			
手帳等	身障者手帳 無・有 () 療育手帳 無・有 ()		
学校生活の様子	学習面		
	生活面 動作・歩行等		
	心理・社会面		
	生活面		
保護者・本人の願い			

【指導計画】 (弱視児用)

平成 年度 学期

記入日	平成 年 月 日	記入者	
指導目標	(年間) (学期)		
支援の基本的方針 (手だて)			
指導の評価			
保護者の希望			
保護者の評価			

	指導目標	指導内容と手だて	活動の様子・評価
視覚への指導			
教科補充指導			
心理・社会面			
関係諸機関との連携の記録			

通常の学級における個別の指導計画 (弱視児) 記入例

【プロフィール表】

○ ○ 立 ○ ○ 小学校

初回記入日	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日	記入者	○ ○ ○ ○
(ふりがな) 児童生徒名	やまなしはなこ 山梨花子 (男・ <input checked="" type="radio"/> 女)	生年月日	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日
保護者氏名	○ ○ ○ ○	連絡先	自宅Tel
入学・転入	平成 ○ 年 4月 1日		携帯Tel
学年・組	平成 ○ 年度 1年 3組	担任名	○ ○ ○ ○
	平成 ○ 年度 2年 3組	担任名	○ ○ ○ ○
	※書き換え等の関係で2～3年の使用も可	担任名	○ ○ ○ ○
家族構成	※同居の家族を記入。該当児の育児・教育等に深く関わっている親族等がいれば記入。 <記入例> 祖父母, 父母, 本児		
視 覚 障 害 の 状 況	診断名 (主治医)	※診断に関わる状況を記入。診断名がない場合は、特徴的なことを記入。 <記入例>レーベル黒内障 (中心暗点) (○○病院 △△医師) 連絡先Tel	
	視力(矯正)	近方視力: 右0.04 左 0.07 両0.06 遠方視力: 右0.08 左 0.08 両 0.1	
	視野	※測定困難な場合は、観察の様子でもよい。 ・中心・下方向が見えにくい様子。	
	視機能	色覚検査では赤緑色弱の疑い。具体物の色合いは、濃淡で区別している様子。	
	使用補助具	近用は、卓上型レンズ(コイル6倍)。遠用は、単眼鏡(ナイツ8倍)。	
	視距離 その他	28ポイント文字サイズで15cm程度。(書見台・拡大教材を使用する。 眼振が見られ、注視すると大変疲れやすい。暗いと文字が読みにくい様子である。体調や環境により見え方が、かなり違うので状況把握が必要である。	
生育歴 (教育相談歴 等を含む)	※保護者からの聞き取りで特記すべきことがあれば記入。 <記入例>2歳の時に眼振が気になり、眼科を受診。その後、3ヶ月に1回定期受診中。同時に○○研究所で教育相談を受け、県立盲学校教育相談を紹介される。3歳月2回、4歳からは盲学校幼稚部で週2日指導を受ける。地元の保育園にも通園。		
手帳等	身障者手帳 無・ <input checked="" type="radio"/> 有 (1種3級) 療育手帳 無・有 ()		
学 校 生 活 の 様 子	学 習 面	※指導上特に必要な項目について記入。 ※弱視児の場合、見えないことにより自分が主体となった生活経験が乏しいことや読書経験の不足なども考えられる。学習上の遅れや問題が、知的理解によるものなのか、見えないことによる二次的な問題であるのかを見極めて記載すること。 <記入例>読み書きの速度が遅い。体育の集団ゲームが苦手である。図工の粘土が得意である。	
	生 活 面 動 作 ・ 歩 行 等	※歩行(校舎内、階段、道路での様子等)、運動(ボール、走り方、基本的な運動等)目と手の協応、見え方(まぶしさや暗い所での見え方)等記載する。 <記入例>慣れた所での行動は問題はない。段差や信号が分からない。ボールゲームができない。	
	心 理 ・ 社 会 面	<記入例>見えないことで自信がもてずに依存的な面があり、何事に対しても消極的である。また、見えないためにぶつかっても「ごめんなさい。」が言えず、友だち関係が難しくなっている。	
保護者・本人の 願 望	<記入例>視覚障害により、見えにくい状況があるので必要な教育的配慮のもと、通常の学級において友だちと共に学習したい。補助具の使い方も教えてほしい。		

【指導計画】 (弱視児用)

平成〇〇年度 〇 学期

記入日	平成〇〇年〇月〇日	記入者	〇〇〇〇
指導目標	※この期間における目標を設定。実態から導き出された具体的なものが多い。 <記入例> (年間) ①遠近両用のレンズの使い方に慣れる。②学年相当の学習内容の定着を図る。③行事や体験学習を通して、視経験・体験・遊びを広げる。④在籍学級の児童への視覚障害児理解を図る。 (学期) ①遠用レンズで校内や学校の周りものを見て確かめる。②新出漢字の定着を図る。③遠足や生活科の学習で遠用レンズを活用し、視経験を広げる。④視覚障害体験学習を行い、理解を図る。		
支援の基本的方針(手だて)	※目標を達成するための具体的手だてを記入。 <記入例>①楽しく見る経験を積み重ねることで、見る意欲を育むようにする。②拡大教材、通常の教材をレンズを使って見るなどの場面を設定し、必要に応じて取り出しての補助指導を行うようにする。③家庭との連携を大切にする。		
指導の評価	※指導期間末に評価。 <記入例>見える喜びがもてるようになってきた様子で、自分から視覚補助具を使おうとする場面が増えてきている。また、友だちのなかで一緒に遊ぶような場面が増えてきた。意欲的な面が見え始めている。		
保護者の評価	<記入例>レンズを使って遠くのものを見ることが楽しくなり、家庭でも出かける時に自分から使うようになってきた。大変嬉しく思っている。今後も指導をお願いしたい。		
保護者の希望	<記入例>学習が進むにつれ、漢字などの習得に時間がかかっている。漢字のプリントの拡大率をもう少し上げてほしい。		

	指導目標	指導内容と手だて	活動の様子・評価
視覚への指導	<記入例> ・楽しみながら視経験を増やし、視知覚を向上させる。	4月 学校及び周囲の探検(遠用レンズ) 5月 春の遠足(遠用レンズ) 描画・迷路・ペグさし 6月 図形認知・白杖の使い方 7月 サマースクール(盲学校主催) (盲学校の巡回による指導を依頼)	・遠用レンズは、ピントは教師が合わせているが、対象の探索や的確に像を認知する力が高まった。 ・左右の図を見比べる等、視線の移し変えの力が向上した。
教科補充指導	・音読、漢字、長さ、鍵盤ハーモニカ、運動などのつまづきを補う。	4月 新出漢字・音読 5月 ↓ 定規の使い方 6月 ↓ 短文視写 ↓ ボール運動 7月 ↓ ↓ 鍵盤ハーモニカ ↓ ・音読教材は、本児の興味のある題材を扱う。	・音読については、放課後の取り出して毎日10分間実施。読速度は、4月は54文字/1分だったが、7月は、75文字/1分となった。 ・定規は、弱視用白黒反転定規を使用。5mm単位は判読できた。
心理・社会面	・授業をとおして、学級の児童、保護者に障害の特徴と配慮点を知らせる。	・道徳の時間に本児の見え方をシミュレーションレンズで体験する。(歩行・ボール遊び・黒板の文字の読み取り等)	・本児の見えないことによる困難さを体験したことにより、学級の友だちが本児と関わりをもとうとするようになってきた。本児も自分の気持ちを伝える場面が増えてきた。

関係諸機関との連携の記録

※必要に応じて、盲学校(視覚障害教育相談・支援センター)の教育相談や巡回による指導等の支援が受けられます。具体的には、視機能評価や指導上の配慮点、教材教具の工夫等について担任との話し合いや授業内容によっては補助指導を行います。弱視児が在籍学級で自分の力を発揮して、生活や学習していけるよう弱視児、その保護者、学級担任を支援します。

平成 年度 諸検査等記録用紙（弱視児用）

学校名		学校		年 組		児童生徒名		(男・女)	
視 力 検 査 等	実施日 年	近方視力 (矯正視力)	右 ()	左 ()	両 ()	M N R E A D 検 査	実施日 H17	最大読書速度	文字/分
	月	遠方視力 (矯正視力)	右 ()	左 ()	両 ()		4月	読書視力	point
	日	最大視認力		/ cm ()			16日	臨界文字サイズ	point
	実施日	近方視力 (矯正視力)	右 ()	左 ()	両 ()		実施日	最大読書速度	文字/分
	月	遠方視力 (矯正視力)	右 ()	左 ()	両 ()		月	読書視力	point
	日	最大視認力		/ cm ()			日	臨界文字サイズ	point
	実施日	近方視力 (矯正視力)	右 ()	左 ()	両 ()		実施日	文字表示	白地に黒/黒地に白
	月	遠方視力 (矯正視力)	右 ()	左 ()	両 ()		月	最大読書速度	文字/分
	日	最大視認力		/ cm ()			日	読書視力	point
	実施日	色覚	赤緑色弱の可能性あり				検 査 時 の 様 子 等	近 用 レ ン ズ	遠 用 レ ン ズ :
	月	視野	(上 下 中 外)						
	日	羞明	有 ・ 無						
実施日	色覚								
月	視野	(上 下 中 外)							
日	羞明	有 ・ 無							
視 機 能 等	実施日	色覚				レ ン ズ の 処 方 及 び 訓 練 状 況 の 記 録			
	月	視野	(上 下 中 外)						
	日	羞明	有 ・ 無						
実施日	色覚								
月	視野	(上 下 中 外)							
日	羞明	有 ・ 無							
特 記 事 項 等	【視野】								
	【検査時の様子】								
	【眼科受診】								

平成〇〇年度 諸検査等記録用紙（弱視児用）記入例

学校名		〇〇〇 学校			△ 年 △ 組		児童生徒名	やまなしたろう 山梨太郎	(男・女)	
視 力 検 査 等	実施日 H17	近方視力 (矯正視力)	右0.04 ()	左 0.07 ()	両0.06 ()	M N R E A D 検 査	実施日 H17	最大読書速度	54文字/分	
	4月	遠方視力 (矯正視力)	右0.08 ()	左 0.08 ()	両 0.1 ()		4月	読書視力	18point	
	15日	最大視認力		0.2/5cm (左)			16日	臨界文字サイズ	28point	
	実施日	近方視力 (矯正視力)	右 ()	左 ()	両 ()		実施日	最大読書速度	文字/分	
	月	遠方視力 (矯正視力)	右 ()	左 ()	両 ()			読書視力	point	
	日	最大視認力		/ cm ()				月	臨界文字サイズ	point
	実施日 H18	近方視力 (矯正視力)	右 ()	左 ()	両 ()			日	文字表示	白地に黒/黒地に白
	月	遠方視力 (矯正視力)	右 ()	左 ()	両 ()		実施日	最大読書速度	文字/分	
	日	最大視認力		/ cm ()				読書視力	point	
	実施日	色覚	赤緑色弱の可能性あり					検査時 の様子等	※指導の際に参考となるような事項を記載する。 ・30cm視距離では難しかった為、15cmの視距離で検査を実施した。 ・改行の際に次の行頭を探しにくい様子が見られた。	
	月	視野	(上 下 中 外)							
	日	羞明	(有) ・ 無							
実施日	色覚									
月	視野	(上 下 中 外)			レンズ の 処 方 及 び 訓 練 状 況 の 記 録	近用レンズ	①倍率6倍 メーカー:コイル ・10ポイントの短文読み(100文字程度)訓練で使用。 ・教科書の欄外の部分の読みには、高倍率のレンズが必要ではないか。(9/15)			
日	羞明	有 ・ 無				②倍率1.5倍 メーカー:コイル ・事典や辞書などを読む練習に使用。見る対象によりレンズを使い分けるようにする練習開始。				
実施日	色覚					遠用レンズ:倍率6倍 メーカー:ナイツ ・黒板に板書された縦書きの短文(1行10文字×10行程度)を読ませる練習を毎日1回初読の条件で実施。				
月	視野	(上 下 中 外)				目標:1文字あたりの読字時間 0.6秒 1文字あたりの読字時間 2.0秒(4/18) " 1.8秒(7/10)				
日	羞明	有 ・ 無								
特 記 事 項 等	※検査時の様子や眼科医受診の際の情報や必要な事項等を記載する。									
	【視野】 固視が難しい為、測定できなかった。しかし、行動観察から下方が狭いように思われる。 【検査時の様子】 見続けると、大変疲れる様子が見られた。検査は5分毎に休憩しながら実施した。 【眼科受診】 3ヶ月に1回、定期検診。									

通常の学級における個別の指導計画
(軽度知的障害児用)

【プロフィール表】

立

学校

初回記入日	平成 年 月 日	記入者	
(ふりがな) 児童生徒名	(男・女)	生年月日	平成 年 月 日
保護者氏名		連絡先	自宅Tel
入学・転入	平成 年 月 日		携帯Tel
学年・組		担任名	
		担任名	
		担任名	
家族構成			
障害の状況	療育手帳の有無 (有 ・ 無) 等級・番号 []		
諸検査の結果			
相談機関等での 診断・相談記録			
学 校 生 活 の 様 子	生活面		
	運動・ 身体面		
	学習面		
	行動面		
生育歴等 特記事項			
保護者・本人の 願い			

【個別の指導計画】 (軽度知的障害児用)

平成 年度 学期

記入日	平成 年 月 日	記入者	
指導目標	(年間) (学期)		
支援の基本的方針 (手だて)			
指導の評価			
保護者の希望			
保護者の評価			

	指導目標	指導内容と手だて	活動の様子・評価
生活面			
学習面			
行動面			

通常の学級における個別の指導計画 (軽度知的障害児用) 記入例

【プロフィール表】

○ ○ 立 ○ ○ 小学校

初回記入日	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日	記入者	○ ○ ○ ○
(ふりがな) 児童生徒名	やまなしはなこ 山梨花子 (男・ 女)	生年月日	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日
保護者氏名	○ ○ ○ ○	連絡先	自宅Tel
入学・転入	平成 ○ 年 4月 1日		携帯Tel
学年・組	平成 ○ 年度 1年3組	担任名	○ ○ ○ ○
	平成 ○ 年度 2年3組	担任名	○ ○ ○ ○
	※書き換え等の関係で2～3年の使用も可	担任名	○ ○ ○ ○
家族構成	※同居の家族を記入。該当児の育児・教育等に深く関わっている親族等がいれば記入。 <記入例> 祖父母, 父母, 本児		
障害の状況	※障害名を記入。ない場合は遅れの様子を記入。療育手帳の有無 (有・ 無) <記入例> 等級・番号 [] ・知的障害 ・学習の遅れが目立ち、身のまわりのことでも一部援助が必要。		
諸検査の結果	※田中ビネー知能検査, SM社会生活能力検査等, 実施した場合に記入。		
相談機関等での診断・相談記録	※保護者からの聞き取りで, 医療機関, 教育センター, 児童相談所等で診断・相談を受けた場合に記入。		
学校の生活の様子	生活面	※指導上特に必要な項目について記入。 <記入例> ・自分の物と人の物の区別はできるが, 整理整頓や管理は難しい。 ・一つのことに夢中になると, 周りが見えなくなってしまう。	
	運動・身体面	<記入例> ・機能的な問題はないが, 全体的に身体の使い方にぎこちなさがある。 ・手足の協応動作, 見て動作をまねることが苦手である。	
	学習面	<記入例> ・国語では1年程度の簡単な漢字を書くことができる。	
	行動面	<記入例> ・集団での行動に抵抗はないが, 説明やルールの理解ができず, 行動が遅れがちである。 ・気に入らないことがあると, すねてしまう。	
生育歴等特記事項	※保護者からの聞き取りで特記すべきことがあれば記入。 <記入例> ・2年間通った保育園では, なかなか友だちと遊べず, 保育士の側にいることが多かった。		
保護者・本人の願い	<記入例> ・学習面の遅れは気になるが, クラスの友だちと仲良く一緒に学習して行ってほしい。		

【個別の指導計画】 (軽度知的障害児用)

平成〇〇年度 〇 学期

記入日	平成〇〇年〇月〇日	記入者	〇 〇 〇 〇
指導目標	※この期間における目標を設定。実態から導き出された具体的なものがよい。 <記入例> (年間)・言葉の理解を高め自分の気持ちを表現できるようにして、落ち着いた集団活動ができるようにする。 (学期)・わからない時には、友だちや先生に聞いて、一緒に学習に取り組むことができるようにする。		
支援の基本的方針(手だて)	※目標を達成するための具体的手だてを記入。 <記入例> ・机間巡視を心がけ、声かけをして見通しをもたせ、スムーズに学習に取り組むことができるようにする。		
指導の評価	※指導期間末に評価。 <記入例> ・声かけをするとやることがわかり、それに取り組むことができた。		
保護者の希望	<記入例> ・理解できなくて、何もしないでいることが多いので、丁寧にやり方を説明してほしい。		
保護者の評価	<記入例> ・授業中、学習に取り組む時間が増えたようで嬉しい。		

	指導目標	指導内容と手だて	活動の様子・評価
生活面	<記入例> ・机の中の整頓をきちんとし、次の時間の学習用具を用意する。	・隣の席の子どもとチェックしあう。 ・きちんとできている時に、他の子どもと一緒にほめる。	・ほめられるととても嬉しそうなのだが、隣の席の子どもから苦情が来ることが多かった。
学習面	・国語では、平仮名の文を読むことができるようにする。	・音読の時間をできるだけ取り入れる。 ・教科書に振り仮名をふっておく。	・音読の時間には、一緒に読もうとする意欲が見られた。
行動面	・嫌なことでも、きまりを守って行う。	・当番の仕事内容を絵付きの表等で示しわかりやすくする。	・当番のすべき仕事内容はわかったようだが、仕事をやりとげることができなかった。

通級による指導（ことばの教室） 個別の指導計画

【プロフィール表】

記入日	平成 年 月 日	記入者			
(ふりがな) 児童生徒名		生年月日 (歳)	平成 年 月 日 (歳)		
性別	男 ・ 女	住所			
保護者氏名		連絡先	自宅Tel		
学校名(園)	学校(園)		携帯Tel		
学年・組	年度 年 組	担任名		担当者名	
	年度 年 組	担任名		担当者名	
	年度 年 組	担任名		担当者名	
家族構成					
障害の状況					
構音検査・諸検査の結果					
発語器官の運動能力等の状況					
行動の様子等					
生育歴 特記事項					
保護者・本人の 願い					
学校・担任の願 い					
入退級等	入 級	平成 年 月	退 級	平成 年 月	

【指導計画】 （構音指導用）

其期間 （平成 年 月 日～ 月 日）

記入日	平成 年 月 日	記入者	
指導目標			
手だて			
指導の評価			
保護者の希望			
保護者の評価			

	指導目標	指導内容と手だて	活動の様子・評価
聞き分け訓練			
発語器官の訓練			
構音訓練			
在籍校での指導			

通級による指導（ことばの教室） 個別の指導計画 記入例

【プロフィール表】

記入日	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日		記入者	○○○○	
(ふりがな) 児童生徒名	やまなしたろう 山梨太郎	生年月日 (歳)	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 (○○ 歳)		
性別	男・女	住所			
保護者氏名	○○○○	連絡先	自宅Tel		
学校名(園)	○○○ 学校(園)		携帯Tel		
学年・組	平成 ○ 年度 1年3組	担任名	○○○○	担当者名	○○○○
	平成 ○ 年度 2年3組	担任名	○○○○	担当者名	○○○○
	平成 ○ 年度 3年3組	担任名	○○○○	担当者名	○○○○
家族構成	※同居の家族を記入。 <記入例> 祖父母, 父母, 本児				
障害の状況	※障害の種別を記入。 <記入例> 構音障害, 言語発達遅滞, 吃音, 口蓋裂, 難聴, 軽度発達障害 等				
構音検査・諸検査の結果	※構音検査時の音の様子を詳しく記入。 <記入例> サ行音→タ行音, ツ音→チュ音 に置き換わる。 [キ・ギ] 音, [リ] 音とその拗音が歪む。				
発語器官の運動能力等の状況	※口唇, 顎, 舌の動き等に問題があれば記入。 <記入例> 発音時に顎が左右に動くことがある。				
行動の様子等	※構音以外に特記すべきことがあれば記入。 <記入例> 検査中に落ち着きなく, 電車の音などに気をとられることが多かった。				
生育歴 特記事項	※保護者から聞き取った生育歴などで特記すべきことがあれば記入。				
保護者・本人の 願い	※指導の過程で, 保護者・本人から聞き取り記入。				
学校・担任の願 い	※在籍校との連携の過程で聞き取った願いを記入。				
入退級等	入 級	平成 ○○ 年 ○ 月	退 級	平成	年 月

【指導計画】（構音指導用）

期間（平成〇〇年 〇 月 〇 日～ 〇 月 〇 日）

記入日	平成〇〇年〇月〇日	記入者	〇 〇 〇 〇
指導目標	※この期間における目標を設定。実態から導き出された具体的なものがよい。 <記入例>・[サ] 行音の正しい音を聴き分けるよい耳を育てる。 ・[シ・ス] 音の正しい発音の方法を学習する。 ・単語で正しく発音できる。 ・短文で正しく発音できる。 ・日常会話で正しく発音できる。		
手だて	※構音の状態に即した支援の手だて，指導音の順位等を記入。		
指導の評価	※指導目標に準じ，その評価を随時記入。		
保護者の希望	※プロフィール表より転記可。		
保護者の評価	※指導過程での保護者の評価を随時記入。		

	指導目標	指導内容と手だて	活動の様子・評価
聞き分け訓練	<記入例> ○サ行音の聞き分けができる。 ・正誤弁別 ・自己弁別	・フラッシュカード「くだもの」で名称を言う。	さつまいも，な <u>し</u> ，な <u>す</u> ， ほうれん <u>そ</u> う →× （5月～6月）
発語器官の訓練	○舌の安定を図る。	○舌を平らにして止めておくことができる。 ・舌の上にたまごボーロをのせ，落とさないようにする。徐々にその時間を延ばしていく。	・平らな舌，ボーロのせは，すぐにできた。（5月）
構音訓練	○[ス]音を正しく出すことができる。	○[ス]音の音作り ①ストローを上歯と舌の間に挟み息を通す。 ②ストローを使ってθ音を出す。 ③ストローなしでθ音を出す。	・ストローの袋とばし ①の状態で勢いよく息を出し，ストローの袋をとばした。（6月）
在籍校での指導	※在籍校との連携の中で，必要とされる指導を随時記入。 <記入例> ○日常会話で[ス]音が正しく発音できる。	○通級指導の中で[ス]音が出せるようになっているので，在籍校でも音読指導等で，正しい音を促す。	

通級による指導（情緒障害特殊学級） 個別の指導計画

【プロフィール表】

記入日	平成 年 月 日	記入者			
(ふりがな) 児童生徒名		生年月日 (歳)	平成 年 月 日	(歳)	
性別	男 ・ 女	住所			
保護者氏名		連絡先	自宅Tel		
学校名(園)	学校(園)		携帯Tel		
学年・組	年度 年 組	担任名		担当者名	
	年度 年 組	担任名		担当者名	
	年度 年 組	担任名		担当者名	
家族構成					
障害の状況	医師の診断の有無（有・無） 障害の種類 []				
諸検査の結果					
相談機関等での 診断・相談記録					
学校生活の様子	生活面				
	運動・身体面				
	認知面				
	社会性				
生育歴 特記事項					
保護者・本人の 願い					
学校・担任の願 い					
入退級等	入 級	平成 年 月	退 級	平成 年 月	

【指導計画】（発達障害・情緒障害児用）

平成 年度 学期

記入日	平成 年 月 日	記入者	
指導目標	(年間)		
	(学期)		
手だて			
指導の評価			
保護者の希望			
保護者の評価			

	指導目標	指導内容と手だて	活動の様子・評価
行動面			
学習面			
コミュニケーション			
在籍校での指導			

通級による指導（情緒障害特殊学級） 個別の指導計画 記入例

【プロフィール表】

記入日	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日		記入者		
(ふりがな) 児童生徒名	やまなしはなこ 山梨花子	生年月日 (歳)	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 (○ ○ 歳)		
性別	男 ・ <input checked="" type="radio"/> 女	住所			
保護者氏名	○ ○ ○ ○	連絡先	自宅Tel		
学校名(園)	○ ○ ○ 学校(園)		携帯Tel		
学年・組	平成 ○ 年度 1 年 3 組	担任名	○ ○ ○ ○	担当者名	○ ○ ○ ○
	平成 ○ 年度 2 年 3 組	担任名	○ ○ ○ ○	担当者名	○ ○ ○ ○
	平成 ○ 年度 3 年 3 組	担任名	○ ○ ○ ○	担当者名	○ ○ ○ ○
家族構成	※同居の家族を記入。〈記入例〉 祖父母，父母，本児				
障害の状況	※診断に関わる状況を記入。診断名がない場合は，特徴的なことを記入。 医師の診断の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) 障害の種類 [自閉傾向]				
諸検査の結果	※田中ビネー知能検査，SM社会生活能力検査等，実施した場合に記入。 実施日(平成○年○月○日) <input type="checkbox"/> 全訂版田研・田中ビネー知能検査 知能指数○○ 生活年齢○歳○ヶ月 精神年齢○年○6ヶ月				
相談機関等での 診断・相談記録	※保護者からの聞き取りを記入。関係機関の情報等があれば補足する。 〈記入例〉 ・就学前，教育相談を計10回また言葉の訓練を計35回(□□医療センター) ・就学前，グループ集団での遊び，働きかけなどの訓練を計60回(児童相談所) ・月に2回 発達訓練の指導(山梨△△協会)				
学 校 生 活 の 様 子	生活面	※指導上特に必要な項目について記入。 〈記入例〉衣服の着脱は自立している。食事でも自立しているが，おかわりなどルールが守れない。排泄も大便秘は支援を要する。持ち物の整理管理ができない。登校時は母親が付き添う。			
	運動・身体面	〈記入例〉全身運動に特に問題はなく，スキップなどのリズム動作もできる。集団での準備運動やランニングもみんなと一緒にできる。			
	認知面	〈記入例〉言葉による指示は理解し反応する。語彙数はかなりあるが，言葉でわかりやすく説明するのは難しい。数の順序や大小は理解していて，簡単な加減計算はできる。			
	社会性	〈記入例〉休み時間等一人で過ごしている。したい事を制止されると叩いたりする。興味の向かないことには取り組まない。遊びで自分の負けが分かると泣く。			
生育歴 特記事項	※保護者からの聞き取りで特記すべきことがあれば記入。 〈記入例〉幼児期から言葉の遅れがあり，集団生活上も一人であることが目立った。				
保護者・本人の 願い	〈記入例〉 ・学校の生活でみんなと一緒に行動ができるようになって欲しい。 ・友だちと仲良く関わることができるようになって欲しい。				
学校・担任の願 い	〈記入例〉 ・基本的な生活習慣を身につけさせたい。 ・社会性や生活力を身に付けさせたい。				
入退級等	入 級	平成 ○ ○ 年 ○ 月	退 級	平成	年 月

【指導計画】（発達障害・情緒障害児用）

平成〇〇年度 〇 学期

記入日	平成〇〇年〇月〇日	記入者	〇 〇 〇 〇
指導目標	※この期間における目標を設定。実態から導き出された具体的なものがよい。 <記入例> （年間）・社会性や生活力を身につけさせる。 ・興味関心やコミュニケーションの幅を広げる。 （学期）・基本的な生活習慣を身につけさせる。 ・生活のルールにそって行動できる場面を増やす。 ・興味関心を広げ友だちと関わる楽しさを味わわせる。		
手だて	※目標を達成するための具体的手だてを記入。 <記入例> ・多様な生活経験をさせながら、その場面で声をかけたり考えさせながら支援する。 ・友だちや先生との関わるの機会を意識的に設ける。		
指導の評価	※指導期間末に評価。 <記入例>友だちや先生と関わることに、少しずつ関心をもつようになってきて、自ら関わろうとする場面も見られるようになってきた。		
保護者の希望	<記入例>集団行動がとれるようになってほしい。コミュニケーション力を伸ばして、相手の気持ちが分かり集団のルールも理解できるようになって欲しい。		
保護者の評価	<記入例> ・家庭の中での約束事を少しずつ守れるようになってきた。 ・興味関心の幅が広がってきた。		

	指導目標	指導内容と手だて	活動の様子・評価
行動面	<記入例> ・日常生活に生じやすいトラブルに一人で対処できるようにさせる。	・ソーシャルカードを利用して、絵の状況や心情をとらえさせる。 ・日常の実際場面でどんな行動をとったら良いか考えさせる。	・ソーシャルカードの場面ではだいたい適切な反応が理解できるようになってきた。
学習面	・学習の規律を身につけさせる。 ・興味関心の幅を広げる。	・挨拶・上履き確認・学習の支度片づけ・着席・話の聞き方等については毎時間徹底させる。 ・言葉遊びを楽しみながら色々な事に目を向かせる。	・着席については、だいたい定着してきた。 ・興味・関心も少しずつ広がってきた。
コミュニケーション	・話題にそって話したり聞いたりできる。	・5W1Hに気をつけさせながら話すようにさせる。	・十分ではないが、体験したことなどは、大まかに話げできた。
在籍校での指導	・持ち物の管理ができるようにさせる。 ・集団の中で自分の役割を果たすようにさせる。 ・友だちと関わることの楽しさをあじあわせる。 ・席について学習に取り組んだり、学習の準備ができるようにさせる。	・その都度声をかけ一緒にする。 ・係活動などのやり方を理解させ活動中も見守り励ます。 ・関わりが楽しくなるようにマナーを教え支援する。 ・最前列に座らせ個別に指示を与えて学習を進める。様子を見て課題の内容や量を調整する。	・声をかけると整頓していた。 ・給食当番など決められた係りは自ら取り組めた。 ・周囲との関わりに関心をもちつつある。 ・着席がだいたい定着してきたが、学習準備はまだ課題である。

通常の学級における個別の指導計画
(軽度発達障害児…LD等…用)

【プロフィール表】

立

学校

初回記入日	平成 年 月 日	記入者	
(ふりがな) 児童生徒名	(男・女)	生年月日	平成 年 月 日
保護者氏名		連絡先	自宅Tel
入学・転入	平成 年 月 日		携帯Tel
学年・組		担任名	
		担任名	
		担任名	
家族構成			
障害の状況	医師の診断の有無 (有 ・ 無) 障害の種類 []		
諸検査の結果			
相談機関等での 診断・相談記録			
学校生活の様子	学習面		
	行動面		
	コミュニケーション・ 言葉遣い面		
	対人関係		
	その他 (運動 ・身体面等)		
生育歴等 特記事項			
保護者・本人の 願い			
学校・担任の 願い			

【指導計画】 (軽度発達障害児…LD等…用)

短期期間(平成 年 月～ 年 月)

記入日	平成 年 月 日	記入者	
指導目標			
手だて			
指導の評価			
保護者の希望			
保護者の評価			

	指導目標・内容	支援の方法	支援の形態	評価
学習面				
行動面				
コミュニケーション・言葉				
対人関係				
その他				

通常の学級における個別の指導計画（小学校記入例） （軽度発達障害児…LD等…用）

【プロフィール表】

〇 〇 立 〇 〇 小学校

初回記入日	平成 〇 年 〇 月 〇 日	記入者	〇 〇 〇 〇
(ふりがな) 児童生徒名	やまなしはなこ 山梨花子 (男・ <input checked="" type="radio"/>)	生年月日	平成 〇 年 〇 月 〇 日
保護者氏名	〇 〇 〇 〇	連絡先	自宅Tel
入学・転入	平成 〇 年 4 月 1 日		携帯Tel
学年・組	平成 〇 年度 1 年 3 組	担任名	〇 〇 〇 〇
	平成 〇 年度 2 年 3 組	担任名	〇 〇 〇 〇
	※書き換え等の関係で2～3年の使用も可	担任名	〇 〇 〇 〇
家族構成	※同居の家族を記入。該当児の育児・教育等に深く関わっている親族等がいれば記入。 〈記入例〉 祖父母, 父母, 本児		
障害の状況	※診断に関わる状況を記入。診断名がない場合は、特徴的なことを記入。 医師の診断の有無 (有・無) 〈記入例〉幼少期に極度の落ち着きのなさ。 障害の種類 [LD, ADHD] 就学してからは、文字の習得に困難を示す。		
諸検査の結果	※LDやADHDに関わる検査や指導上他の障害の状況等に関係する検査の結果を記入。 〈記入例〉 WISC-III 〇〇		
相談機関等での 診断・相談記録	※保護者からの聞き取りを記入。関係機関の情報等があれば補足する。 〈記入例〉 3才…〇〇クリニック (ことばの遅れ) 5才…県教育センター (対人関係・発達の全体状況), 〇〇病院 (AD/HD)		
学 校 生 活 の 様 子	学習面	※LDの場合などは、必要に応じてこの項をさらに国語・算数等の教科別に細分化してもいい。 〈記入例〉国語の文字の習得困難 (特に「書き」) がベースとなって、他教科の学習に影響を及ぼしている。	
	行動面	※指導上特に必要な項目について記入。 〈記入例〉遊び等では勝敗に強くこだわり、自分が勝てない時に友だちに手を出したりする。	
	コミュニケーション・ 言葉遣い面	〈記入例〉相手の気に障ることを言ったり、自分のペースで会話を進めるため、トラブルが多い。年長者にも友だちと同様の言葉遣いをする。	
	対人関係	〈記入例〉その場の雰囲気を読みとることが十分にできない。	
	その他 (運動 ・身体面等)	※この項には上記以外で指導上必要な点を記入。 〈記入例〉運動面でのぎこちなさがある。道具等の使用も不器用。作品の完成等が難しい。	
生育歴等 特記事項	※保護者からの聞き取りで特記すべきことがあれば記入。 〈記入例〉身体面の発育には特に問題がない。小さい時、床に転がっているおもちゃ等に気づかず、踏んで歩いたりしていた。		
保護者・本人の 願い	〈記入例〉同年齢の子どもたちとのトラブルが多く、「適切な対人関係の方法を身につけてほしい」と願っている。学習面では「ことば・文字の学習」で遅れがでないかと不安に思っている。本人は、文字がきちんと書けるようになりたいと願っている。		
学校・担任の 願い	〈記入例〉ひらがな・カタカナの完全習得と学年相当の漢字は全ての読みと1/2程度の書きの習得。基本的な生活習慣の確立。安定した情緒で過ごすこと。		

【指導計画】（軽度発達障害児…LD等…用）

短期期間（平成〇〇年9月～〇〇年12月）

記入日	平成〇〇年〇月〇日	記入者	〇〇〇〇
指導目標	※この期間における目標を設定。実態から導き出された具体的なものがない。 <記入例> ひらがな・カタカナの完全習得。既習の漢字の読み、1年生の漢字を確実に書く。 学習の準備・かたつけができる。 順番等を守って遊ぶことができる。		
手だて	※目標を達成するための具体的手だてを記入。 <記入例> 一人一人のよさを認め合う学級づくり 学習環境における刺激の抑制や情報量の制限 落ち込みの大きい内容では同内容で異目標の教材の準備・取り出し学習等		
指導の評価	※指導期間末に評価。		
保護者の希望	<記入例> 友だちに手を出すことなく遊んでほしい。学年相当の文字の読み書きは習得させたい。楽しく学校に行ってほしい。		
保護者の評価	※指導期間末に評価。		

	指導目標・内容	支援の方法	支援の形態	評価	
学習面	<記入例> 国語 1学年1～2学期の漢字を確実に読む。 新出漢字〇〇を書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定着のため10問ずつのミニドリル用意。授業終了前5分間を定時習得タイム。 ・単独、文中、意味を交えての練習プリントを用意。 	2年教室T.T. 週1時間取り出し指導	<ul style="list-style-type: none"> ・8割を確実に書くことができるようになった。 ・意味や使い方を理解して書くことができた。 	
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ・2桁の繰り上がりのある計算が確実にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単独の計算力を基礎に、文章題の読みは教師が確認。 	T.T.	<ul style="list-style-type: none"> ・ふりがなをつける漢字が少なくなってきた。
	体育	<ul style="list-style-type: none"> ・ドッチボール等でぶつけられても怒らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・T.T.の声かけで気持ちを安定させる。 ・仲良しペアで投げ合い、ルールを理解させる。 	担任	<ul style="list-style-type: none"> ・ぶつけられることもルールであると納得できることが多くなった。
	図工	<ul style="list-style-type: none"> ・途中で投げ出さずに作品を完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形を捉える時のポイントを個人的に示す。 ・手順を隣で具体的に示す。 	T.T.	<ul style="list-style-type: none"> ・T.T.の示した手順を見ながら作品を完成できた。
行動面	<ul style="list-style-type: none"> ・机の中の整理・整頓ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整理箱の内側の底の部分に入れる物の絵と名前を示しておく。 	担任(確認) T.T.(教具づくり)	<ul style="list-style-type: none"> ・時々注意するだけで、示された絵を意識して整理できるようになった。 	
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・感謝、拒否等の自分の気持ちを短い言葉で表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会でロールプレイを取り入れ、場面に合った適切な言葉遣いを学習する。 	T.T. 学級会 日常生活全般	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と1対1であれば基本的で適切な言葉遣いができるようになった。 ・T.T.が隣で示した。 	
対人関係	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びで順番を守ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年合同体育などでゲーム活動を取り入れ、順番カード等を用いる。 	2学年職員 関係全職員	<ul style="list-style-type: none"> ・2学年職員であれば指示に従えるようになった。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した情緒で過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇係の発表場面を学級活動の中に仕組む。 ・がんばり表で自己評価できるようにする。 	担任 家庭(がんばり表に感想を書く)	<ul style="list-style-type: none"> ・係については自信をもって発表できるようになった。 	

通常の学級における個別の指導計画（中学校記入例） （軽度発達障害児…LD等…用）

【プロフィール表】

○ ○ 立 ○ ○ 中学校

初回記入日	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日	記入者	○ ○ ○ ○
(ふりがな) 児童生徒名	やまなしたろう 山梨太郎 (男・女)	生年月日	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日
保護者氏名	○ ○ ○ ○	連絡先	自宅Tel
入学・転入	平成 ○ 年 4月 1日		携帯Tel
学年・組	平成 ○ 年度 1年3組	担任名	○ ○ ○ ○
	平成 ○ 年度 2年3組	担任名	○ ○ ○ ○
	※書き換え等の関係で2～3年の使用も可	担任名	○ ○ ○ ○
家族構成	※同居の家族を記入。〈記入例〉祖父母，父母，姉，本人		
障害の状況	※診断に関わる状況を記入。診断名がない場合は，特徴的なことを記入。 〈記入例〉こだわり，対人関係におけるトラブル，パニック 医師の診断の有無（有・無） 学習における遅れは見られない 障害の種類 [自閉傾向]		
諸検査の結果	※LDやADHDに関わる検査や指導上他の障害の状況等に関する検査の結果を記入。 〈記入例〉WISC-III ○○		
相談機関等での 診断・相談記録	※保護者からの聞き取りを記入。関係機関の情報等があれば補足する。 〈記入例〉中学校入学前…児童相談所 中学1年夏休み中…児童相談所（自閉傾向あり）		
学校 生活の 様子	学習面	※LDの場合などは，必要に応じてこの項をさらに国語・算数等の教科別に細分化してもいい。 〈記入例〉学習面での遅れは特になく，情緒が安定していれば一斉授業の中で対応できる。 授業中に情緒不安定になったときには，基本的には授業の担当教師が対応する。	
	行動面	※指導上特に必要な項目について記入。 〈記入例〉日常生活におけるこだわりや，独り言などが見られる。 情緒が不安定になると泣いたり暴力的になったりすることもある。	
	コミュニケーション・ 言葉遣い面	〈記入例〉自分の興味関心や疑問が第一優先となってしまう，相手や周囲の状況を判断して行動することが苦手である。 相手に合わせた言葉遣いができ，年長者とは敬語で会話ができる。	
	対人関係	〈記入例〉場の雰囲気を読み取ることが十分にできない。 被害者意識が強く，周囲からの接触も実際より大きく捉えがちである。	
	その他（運動 ・身体面等）	※この項には上記以外で指導上必要な点を記入。 〈記入例〉聴覚のみを通しての情報を理解することが苦手で，何度も繰り返し同じ質問をすることがある。	
生育歴等 特記事項	※保護者からの聞き取りで特記すべきことがあれば記入。 〈記入例〉身体的な発育や学習面での発達には特に遅れは見られない。 幼少期より周囲との関わりがうまくもてなかった。		
保護者・本人の 願い	〈記入例〉落ち着いて周りの人と関わられるようになってほしい。そのためにも，学校では本人の話をよく聞いてほしい。（児童相談所でそのように指導された。） 本人は周囲の生徒と仲良くし，仲間をつくりたいと思っている。		
学校・担任の 願い	〈記入例〉安定した情緒で過ごすしてほしい。 周囲の状況を少しずつでも判断できるようになってほしい。		

【指導計画】（軽度発達障害児…LD等…用）

短期期間（平成 ○○年11月～ ○○年12月）

記入日	平成○○年○月○日	記入者	○○○○
指導目標	※この期間における目標を設定。実態から導き出された具体的なものがいい。 <記入例> 自分や相手の置かれた状況を冷静に考え、行動することができる。 相手の言うことを落ち着いて聞き、内容を理解して行動できる。 伝えたい内容が相手に分かるように話すことができる。		
手だて	※目標を達成するための具体的手だてを記入。 <記入例> 一人一人のよさを認め合う学級づくり 生活環境における刺激の抑制や情報量の制限 本人が理解しやすい形での指示		
指導の評価	※指導期間末に評価		
保護者の希望	<記入例> パニックにならずに落ち着いて生活してほしい。 周囲の友だちとトラブルなく生活してほしい。		
保護者の評価	※指導期間末に評価		

	指導目標・内容	支援の方法	支援の形態	評価
学習面	<記入例> ・授業という公の場であることを意識して参加することができる。	・場の状況にそぐわない発言や質問等は控えさせる。 ・パニックになった場合にはその場を離れて落ち着いてから教室に戻る。	一斉授業 担任 教科担任 学年職員	・気持ちを落ち着かせるために自分から教室を出ることもあった。
行動面	・気持ちの高ぶりを押さえて、自分自身を振り返ることができる。	・パニックになったときには刺激の少ないところへ移動させ、落ち着かせる。冷静になってからパニックの原因等を考えさせる。	担任 学年職員 関係全職員 スクールカウンセラー	・気持ちが落ち着くと原因を話すことができた。 ・休み時間等教師がいない場面で情緒不安定になると自ら職員室に来られることもあった。
コミュニケーション・課題	・相手の置かれた状況を判断して、関わり方を考えることができる。 ・伝えたい内容を筋道を立てて話すことができる。	・本人の話を聞けない状況にあるときには、その理由を説明して待たせる。 ・いつ、誰が、何を、といった具体的なことを質問し、1つずつ落ち着いて考えさせる。必要に応じてその内容を書かせる。	担任 学年職員 関係全職員	・本人が落ち着いている時には、説明を理解したり、相手に伝えたいことを話すことができた。
対人関係	・友だちとトラブルがあったときには、その原因を考えることができる。	・相手から受けた行為だけでなく、その状況に至った経過を考えさせる。必要に応じて相手の生徒も交えて話し合う。	担任 学年職員 関係全職員 スクールカウンセラー	・相手の気持ちや自分の行動を振り返ることができるようになってきた。
その他	・安定した情緒で過ごすことができる。	・教室等の座席を教師のすぐ前にする。 ・大切な連絡は聞くだけでなく、メモさせる。 ・本人が得意とすることを学級で担当させる。	担任 教科担任 学年職員 関係全職員	・他の生徒の動きなど視覚的な刺激が少なくなり、落ち着いて過ごせるようになってきた。 ・教師とのコミュニケーションが図りやすく、指示の確認がしやすくなった。 ・口頭で伝えるだけでは捉えにくかった内容も理解しやすくなった。 ・自分に自信をもてるようになってきた。

